

敦賀2号機で 廃水が漏れる

「環境影響はなし」

日本原子力発電は6日、運転停止中の敦賀原発2号機で放射性物質を含む廃水が約15ミリットル漏れたと発表した。周辺環境への影響はないと説明している。原電によると、6日午後

1時すぎ、所員が原子炉補助建屋地下1階で、配管の接合部の水漏れ跡と床上の水たまりを見つめた。接合部には、機器の洗浄水を移送するポンプの圧力を測る装置が設置されている。同日午前9時ごろから約1時間、ポンプを稼働させていたという。水漏れの原因は不明で、原電は今後詳しく調べる。(大野正智)